

INTELLILINK



## Oracle Content & Experience Cloudを活用した 当社ソリューションブランドサイトの取り組みのご紹介

2019年8月7日  
NTTデータ先端技術株式会社  
営業統括本部 パートナー営業部 エグゼクティブセールス  
田村 広朗

# 本日はご紹介したいこと

当社では、デジタルソリューション「AXIASTA」の展開を推進するに当たり、ブランドサイトの構築に**Oracle Content & Experience Cloud (OCE)**を採用しております。

本日は、以下のような観点から、当社の取り組みにおけるOCEの位置づけについてご紹介させていただきます

- ・当社の取り組みの中でOCEをどう活用しているか
- ・ブランドサイトの構築になぜOCEを選択したか
- ・OCEを実際に使った担当者（非エンジニア）の声

## 主要機能のご紹介とその活用例



コンテンツ  
コラボレーション  
Content Collaboration



コンテンツ管理  
Content Management

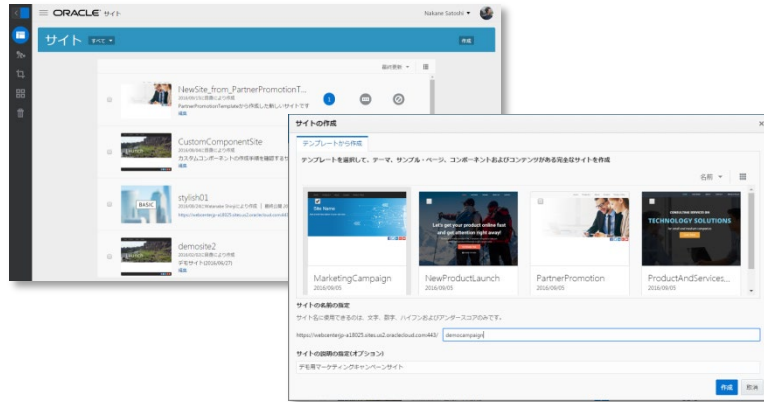


エクスペリエンス管理  
Experience Management



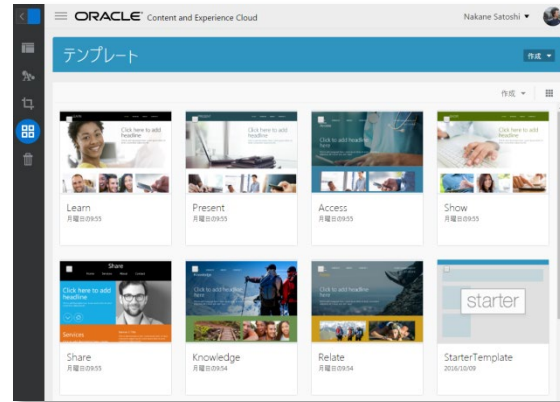
連携拡張  
Integration and Extension

# Oracle Content & Experience Cloud エクスペリエンス管理



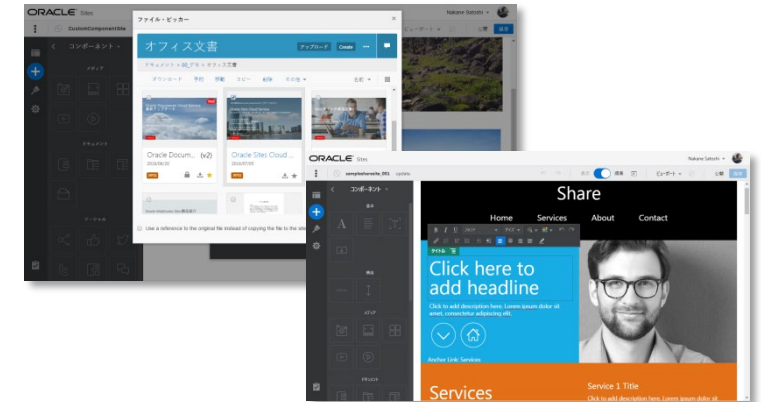
## サイト管理

- テンプレートを選び、サイトを簡単作成
- 公開サイト、ログインが必要なセキュアサイト、どちらも作成可
- ワンクリックでサイトの公開/非公開を制御



## テンプレート

- 目的や用途に応じた事前定義済のテンプレートを複数提供
- モバイル向け最適化 (Bootstrapの採用)
- サイト内で利用できる部品(コンポーネント)も提供

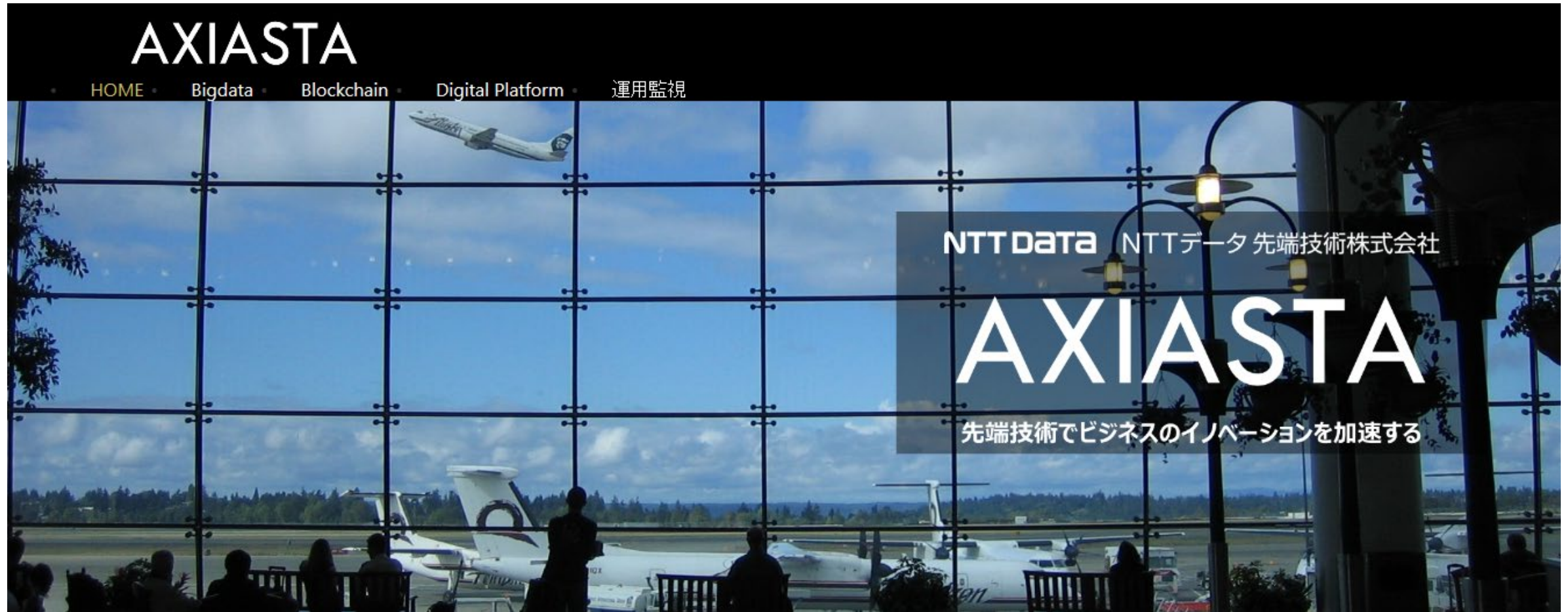


## ページ編集

- Webブラウザからノンコーディングでページを作成
- フォルダ内の画像を選択し、サイト内のページに配置
- フォルダ・ファイル・会話など、あらゆるコンテンツをサイトに活用

OCEの上記機能を活かした、当社ブランドサイトの構築についてご紹介します



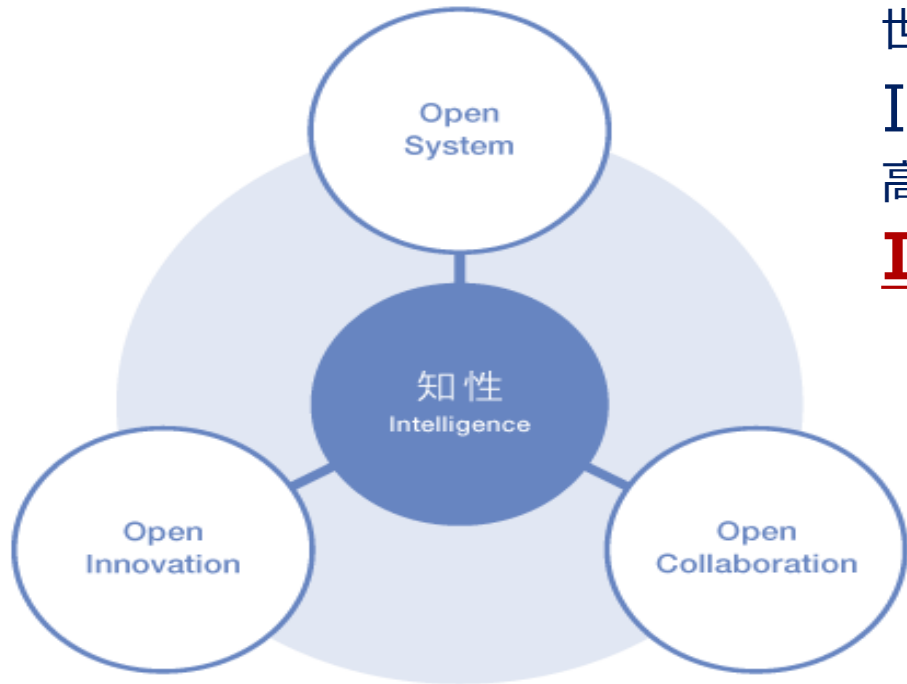


AXIASTAトップページ

<https://axiasta.intellilink.co.jp/>

- ・NTTデータ先端技術のご紹介
- ・デジタルソリューション「AXIASTA」とは
- ・AXIASTA ブランドサイトの立ち上げに向けて
- ・OCEを実際に利用してみても

# NTTデータ先端技術のご紹介



Intelligence + LINK = INTELLILINK

そして、そのベストプラクティスを  
「活用していただける」まで  
IT基盤のソリューションやサービスを  
**ワンストップで提供**します。

世の中で生まれ続ける最先端の技術に、  
Intelligence（知性）を Link（つなぐ）することで、  
高い付加価値のノウハウを創造し、  
**IT基盤のベストプラクティス**を提供します。

## コンサルティング

- IT方針の策定支援やセキュリティ診断・監査

## 技術検証 PoC構築

- 課題の洗い出しや解決策の検討
- 最適構成の検証などのご支援

## システムインテグレーション

- 物品調達から設計、構築、試験まで幅広くご支援

## 保守・運用サポート

- 24H365Dの保守、運用監視、アウトソーシングなどのご支援

## 教育トレーニング

- 技術人材の育成やセキュリティ教育などのご支援

# NTTデータ・グローバル・テクノロジー・サービス・ジャパン (NTTD GTSJ) との事業統合によるデジタルビジネスの強化 (2018年7月1日)

NTTデータ先端技術が持つ高度なITシステム基盤技術と、NTTデータGTSJにおいて培われたグローバルデリバリー体制、**デジタル領域の先進技術を活用**し、お客様の多様なニーズに対して、さらなる高付加価値サービスをご提供します。





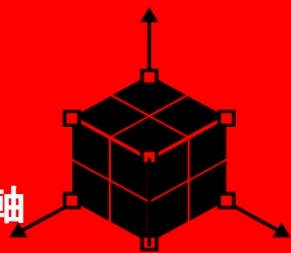
# デジタルソリューション AXIASTAとは

クラウドやAIの登場により、ビジネスにITを活用するだけでなく、  
**ITを活用することによってビジネスのブレークスルーを実現することが**、差別化や成長への重要な要素になりつつあります。  
そのためには、お客様のチャレンジを後押しし、成功までの道筋を共に歩むITソリューションパートナーの存在が不可欠です。

「先端技術」を名乗る当社が、AXIASTAソリューションのご提供を通じて目指すもの、それは  
**お客様がITの新たな一歩を踏み出す時に、最初にご相談いただける企業になることです。**

## AXIS

急速に変化するデジタル時代  
チャンスをつかむための必要な軸



**Axis And Stabilizer**



## Stabilizer

確実な事業成長を実現する  
経営の安定化基盤





## コンサルティング PoC／技術支援サービス

## デジタルソリューション

- ・ビッグデータ
- ・ブロックチェーン
- ・AI
- ・デジタルプラットフォーム
- ・運用監視
- ・セキュリティ

## AXIASTA Cloud Management Service (Oracle Cloud マネージドクラウドサービス)

# AXIASTA

## 6つの要素とサービス

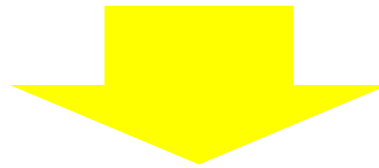


# AXIASTA ブランドサイトの作成に向けて



## 戦略実現に必要な要素

- ・幅広く顧客/市場を攻めるための武器となるソリューション/サービスの展開
- ・より多くのパイプラインを獲得するための一刻も早い市場認知
- ・一本化されたサービスブランド、サービスコンセプト、サービス紹介を以てお客様が一つの入り口から数多くのカテゴリに触れてもらうWebサイト
- ・失敗も想定し、投資リスクを極限まで下げ、いつでも撤退できる投資



## 実現に向け突きつけられた課題/制限事項

①要員リソース ②迅速性 ③投資コスト

# ブランドサイトにOCEを選んだ経緯

## 課題/制限事項

### ①要員リソース

専任のサーバ管理者や、  
セキュリティ管理者をアサインできない

### ②迅速性

専門のエンジニアのアサインが難しい中で、  
一刻も早くWebを立ち上げたい

### ③投資コスト

SW、サーバを新規で買う予算はない  
撤退も容易に行える必要

## 課題解決に役立った要素

クラウド基盤による  
サーバレス環境

エンジニアでなくても扱える  
容易なCMS機能

クラウド投資予算の  
一部を有効活用

## 実現する ソリューション

**Oracle  
Content  
&  
Experience  
Cloud**

**Oracle Cloud  
Universal Credit**

# OCEを実際に利用してみて



INTELLILINK



Oracle Content and Experience Cloud (OCE)  
サイト構築編（対談）




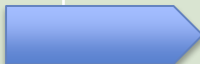

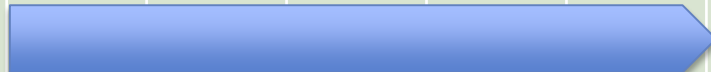


2019年8月7日

NTTデータ先端技術株式会社

基盤ソリューション事業本部 オラクル事業部 営業担当 菅野 卓哉

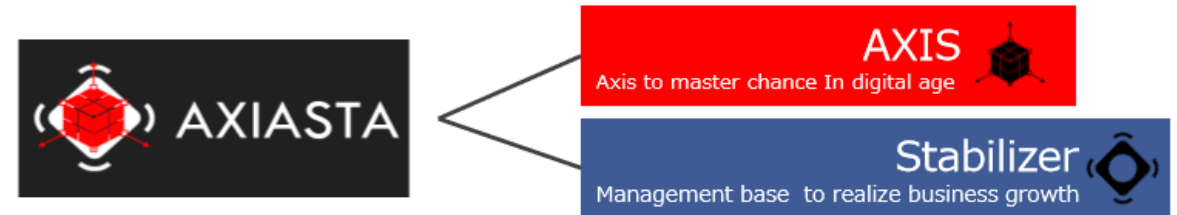


# OCE構築スケジュール

	2018年							2019年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
検討・採用			コーポレートサイト案、OCE使用調整も含む												
フェーズ1 構築					OCE Classic Standard Userでお試的に構築開始/コンテンツ作成・整理										
フェーズ1 運用												OCEデフォルトDomainで公開			
SSL化検討・導入											https化/当社サブDomainで公開。 同時進行で移行Enterprise User				
CLASSICから OCIへ移行															
フェーズ2 構築													コンテンツ拡張		
フェーズ2 運用															
東京DCへ移行													作業中 		



## 先端技術でビジネスのイノベーションを加速する AXIASTA



OCEはレスポンス対応しているため、サイトに手を加えることなくPCやスマホ表示ができる。

## ■ OCEで構築したサイトの位置づけ

- お客さま向けの当社（事業部）ソリューション情報発信サイト

## ■ 業務における効果

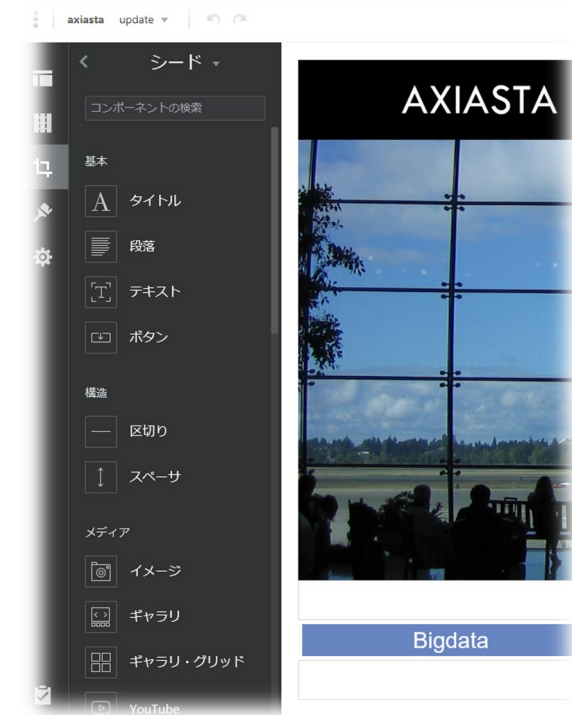
- 当事業部で運用できるため、必要の都度更新できるようになった。  
（コーポレートサイトは広報部門の管轄）

## ■ オラクル製品採用の意思決定プロセスについて

- サイトに関しては、定額料金ではなく、使用した分の課金であったこと
- 使用料金が安かったこと
  - 現在はユニバーサルクレジットから使った分だけ使用料金が引かれる仕組み
- ドラッグアンドドロップ主体でサイトを簡単に作成でき、短期間で立ち上げることができる

## ■ 他社のクラウドは検討したか？最終的にオラクル製品に決めた理由とは？

- コーポレートサイトに掲載する案
- レンタルサーバを借り、Wordpressを使う案
  - レンタルサーバはセキュリティ面で不安があり、Wordpressも頻繁にアップデートされることから検討から除外された
  - コーポレートサイトはわたしたちでは触れない制約があり、自分たちで自由に構築/変更できて、運営費が安いことからオラクル製品に決定した



## ■ 良かった点

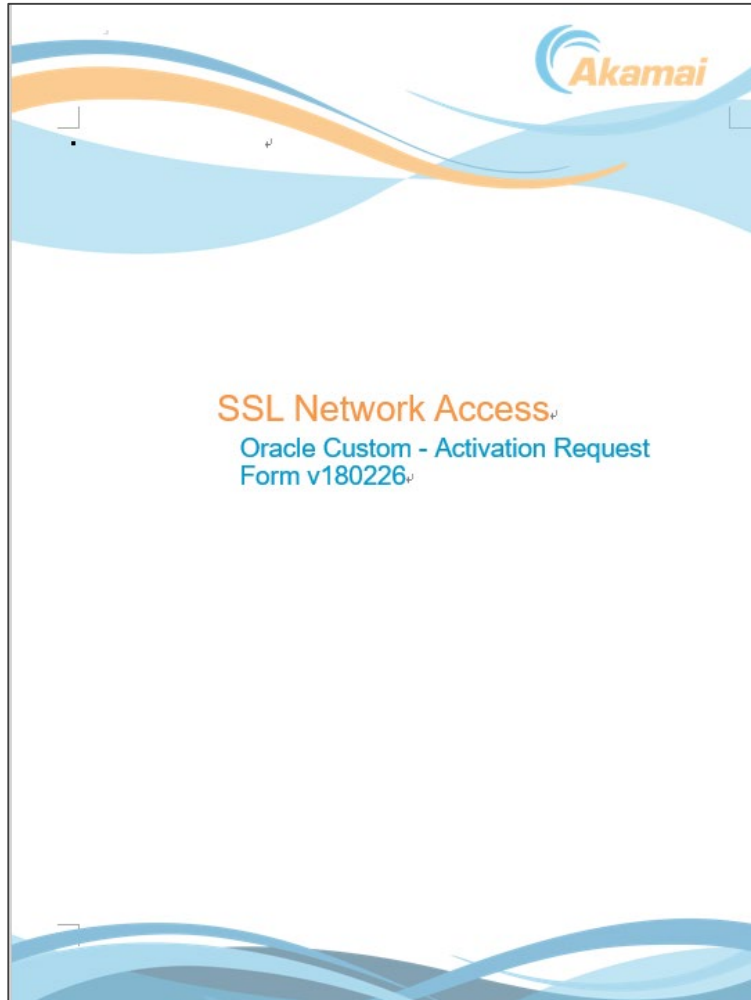
- 基本的な操作を覚えてしまえば簡単にサイト構築ができる（一般的なCMSと変わらない）
- 直感的に作成ができるため、レイアウトの変更も比較的容易
- htmlのコーディングなしで基本的なサイトができる

## ■ 苦勞した点

- ある日突然仕様が変わる
- 情報システム部門とのクラウド利用の調整（リスクアセスメントの実施）
- SSL設定は日本初。オラクルサポートでもわからなことが多く手間はかかった







## ■ Akamai申請（SSL） -煩雑さと期間-

- 申請から15営業日程度でSSL、独自ドメインの設定は可能
- Akamai SSL申請は日本初ということもあり、申請書の書き方がわからず、オラクルサポートと何度もやりとりがあった
- 会社の所在確認が厳格なため、会社の公開されている代表電話に架電がある。Akamaiから架電があった時、対応する担当者を決めて申請書に記入する必要がある。所在確認の内容だが、英語ができる方が望ましい（当社はAkamaiの代理店からで日本語だった）
- SSLは3～15万/年程度料金がかかるが、OECは無料なのでこれだけでもコストメリットがある

## ■ Organic Searchは増えてきている

- ソリューション情報発信サイトなので、単体では順位が上がる要素ではないビッグキーワードも入れている
- ビッグキーワードだけだと、検索順位は上がらないので、スモールキーワードや複合キーワードも使っている
- 共起後も考慮。Googleのアップデートも頻繁なので、コンテンツ重視の方針でページ作成

## ■ SEO関連

- タイトル> 段落> テキストの順番でコンテンツを組み上げるが、当初はテキストのみ「hタグ」の設定が可能だった
- サイトマップを作る機能がない
- サービス拡充や見直しで内容が変わるため、インデックスされ、順位上がる途中でコンテンツ作り直し



## ■ データセンター移行

- OCI-ClassicからOCIへの移行は日本初
- マニュアルに沿って操作すれば問題なく移行（Export, Import）可能  
ただし、サイトのみなので、画像等の移行はクライアント同期ツールを使う必要がある
- OCIに移行後は編集処理や表示が早くなった
- 東京データセンター移行計画中（UC or Pay As）

## ■ Universal Credit or Pay-As-You-Go ?

- Universal Creditは定額で使えるので、想定されているアクセス数には問題ないと考えている。使用量が多くなりバースティングしなければ金額は気にしないでよい。使用量が少なければ、Pay-As-You-Goでもよい



- 価格的には安い印象（アクセス数やサイト更新頻度が多くないのであれば、Pay Asがオススメ）
  - SSLが無料で使えるのはうれしい！！
  - htmlのコーディング不要！
  - 慣れさえすればサイト構築は簡単！
  - SEOはGoogleのアップデートは頻繁にあるので未知数！
  - コンテンツ重視のサイト構成とすること！
- 
- 東京データセンターへの移行を計画実施中







# Content and Experience Cloud を活用したソリューションブランドサイトの取り組み

エンジニアでなくても、サイト作成/移行  
が出来る、クラウド型CMS

日本オラクル株式会社  
クラウド事業戦略統括

渡邊 紳二

**Modern Cloud Day Tokyo**

次世代クラウドが変える日本のビジネス



以下の事項は、弊社の一般的な製品の方方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

# Content and Experience Cloud コンセプト

情報の分断、サイロの乱立を防ぎ、一貫性のとれた情報共有・コンテンツ管理プラットフォームを実現



ファイル受取→オンラインで確認・指摘  
→Webサイトに自動公開、すべての作業が1つのプラットフォームで完結

セッション3



ファイル共有



会話(ビジネスチャット)

このセッション



Web サイト作成(CMS)

## 国内事例

製造・流通・サービス

PEACH JOHN

いろんな笑顔を結びたい

京成電鉄

FANCL

サステイナブルなひと、

生活クラブ

Out-Sourcing!

I&D 株式会社 アイアンドディー  
Innovation & Imagination Delivery清水鋼鉄株式会社  
SHIMIZU STEEL CO.,LTD.

通信

NTT Data

NTTデータ 先端技術株式会社

公共

NIED  
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention京都大学  
KYOTO UNIVERSITY徳島県那賀町/  
那賀町観光協会

ヘルスケア

ときわ会  
TOKIWAKAI GROUP

AIJINKAI Healthcare Corporation

社会医療法人 愛仁会

医療法人社団 守巧会  
矢内原医院IT&プロフェッショナル  
サービスHokkaido  
NS Solutions

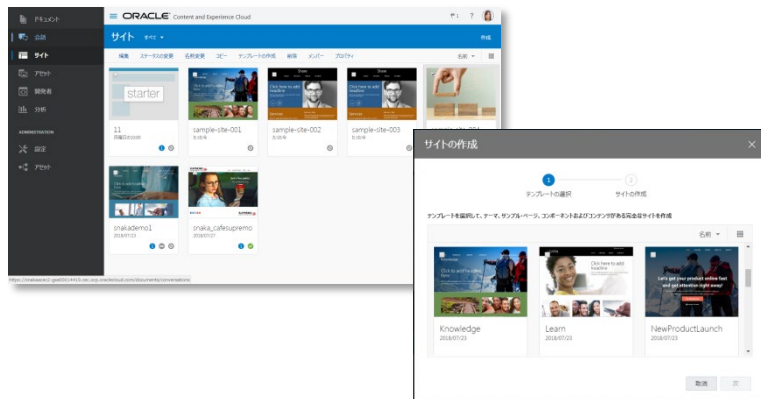
AISEL

フォーサイトシステム株式会社  
Foresight System Co., Ltd.AXAS  
neocareer GROUP

C'sNEXT

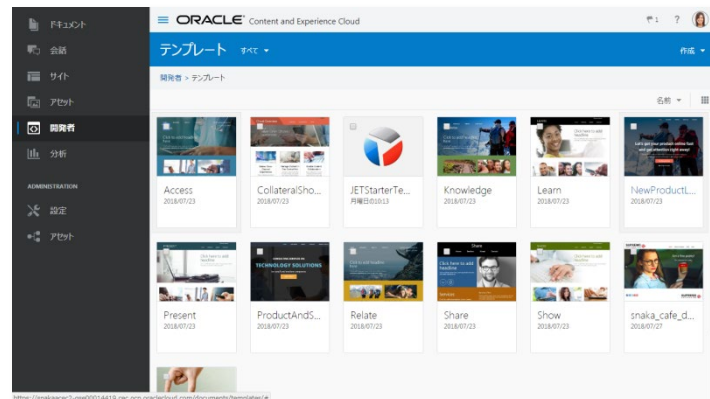


# Web/HTMLの知識不要。誰でも簡単にサイト作成



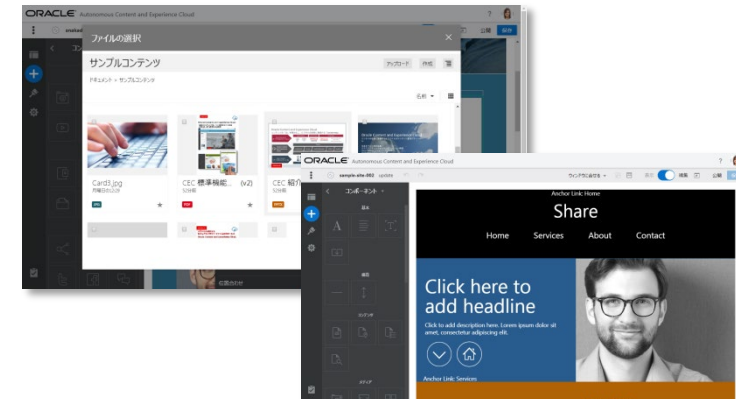
## サイト管理

- テンプレートを選び、サイトを簡単作成
- 公開サイト、ログインが必要なセキュアサイト、どちらも作成可
- ワンクリックでサイトの公開/非公開を制御



## テンプレート

- 目的や用途に応じた事前定義済のテンプレートを複数提供
- モバイル向け最適化 (Bootstrapの採用)
- サイト内で利用できる部品(コンポーネント)も提供

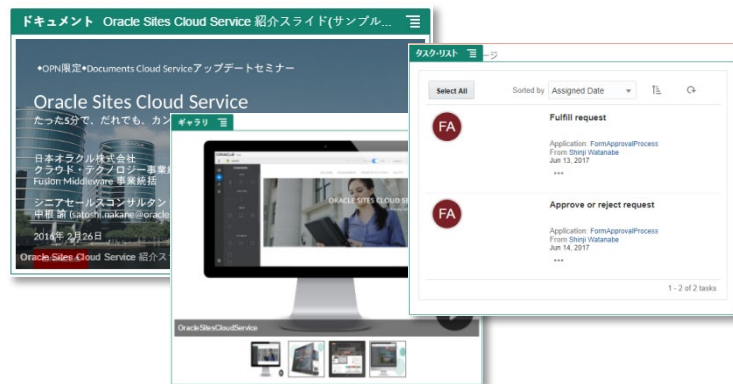


## ページ編集

- Webブラウザからノンコーディングでページを作成
- フォルダ内の画像を選択し、サイト内のページに配置
- フォルダ・ファイル・会話など、あらゆるコンテンツをサイトに活用

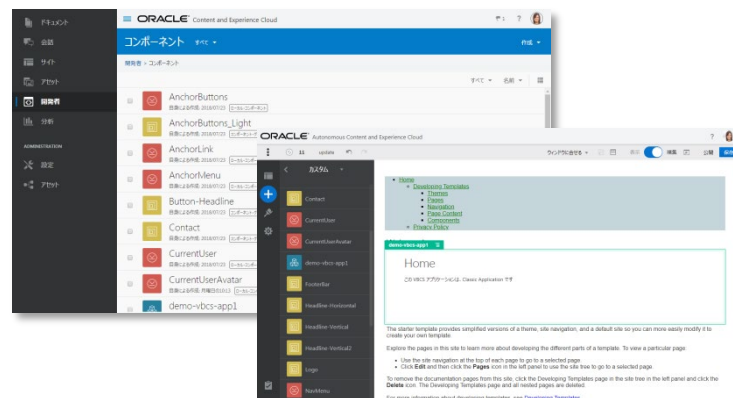


# Web/HTMLの知識不要。誰でも簡単にサイト作成



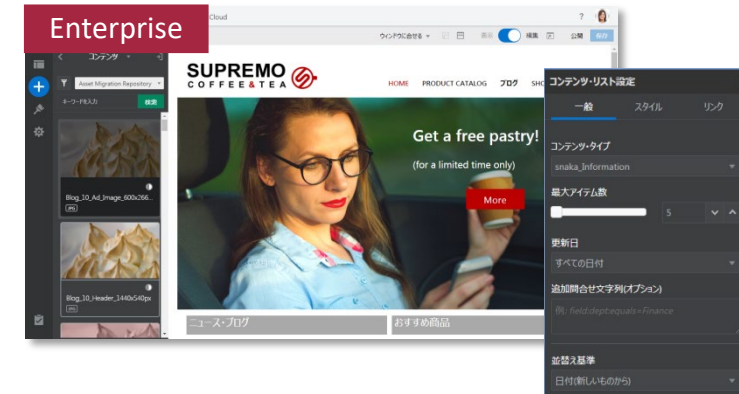
## 標準コンポーネント

- 様々な事前定義済コンポーネントの提供
- メディア、ドキュメント、ソーシャルなど Content Cloud で管理するコンテンツを簡単配置
- 他サービスとの連携コンポーネントの提供(Process他)



## カスタムコンポーネント

- 事前定義済コンポーネントの組み合わせによるコンポーネントグループの作成
- **業務要件にあわせたカスタムコンポーネントの開発及び再利用**
- 外部アプリケーションやサービスの埋め込み利用(iframe)



## Web コンテンツ管理/CaaS

- 公開承認されたコンテンツ・アイテムを、自動的にサイトへ反映
- コンテンツ・アイテムの一覧表示、詳細表示を自動制御
- ニュースや記事、商品情報など、本格的な Web コンテンツ管理にも対応

# パブリックサイト・社内サイトがボタン一つで設定可能

- サインイン要求(ON/OFF)
  - ID管理登録者
  - 特定のロール
  - 選択したユーザー

サイトのプロパティ

サイト・ロゴ

サイト・セキュリティ

サイト・ステータス ☒ オフライン

サイトは現在オフラインです。ログイン要件を追加することによって、サイトを保護できます。

このサイトにアクセスするすべての人にサインインを要求します

☐ いいえ

☒ はい

オンラインのときにこのサイトにアクセスできるユーザー

☒ クラウド・ユーザー  
ドメインにサインインできるすべてのクラウド・ユーザー

☒ 訪問者  
すべてのサービス訪問者

☒ サービス・ユーザー  
すべてのサービス・ユーザー

☒ 特定のユーザー  
選択したユーザーのみ

メンバーの追加    メンバーを表示

# 公開サイト、セキュアサイトの双方で利用 (※弊社活用例)



# デモンストレーション

The screenshot displays the Oracle Cloud Campaign Management interface. The left sidebar contains navigation options: シード (Seeds), コンポーネントの検索 (Search components), コンテンツ (Content), コンテンツ・アイテム (Content items), コンテンツ・プレースホルダー (Content placeholders), コンテンツ・リスト (Content lists), コンテンツ検索 (Content search), メディア (Media), イメージ (Image), ギャラリー (Gallery), ギャラリー・グリッド (Gallery grid), YouTube, ビデオ (Video), and ドキュメント (Documents).

The main content area shows a campaign page titled "Oracle Cloud キャンペーン" (Oracle Cloud Campaign). The page features a hero section with the text "Oracle Content and Experience Cloud" and "Unleash the Power of Content". Below this, there is a section titled "2ヶ月無料キャンペーン" (2-month free campaign) with a button "お申し込みはこちら" (Apply here).

The right sidebar shows a user management table titled "Oracle Cloud キャンペーン管理" (Oracle Cloud Campaign Management). The table lists users with columns: Id, 姓 (Last name), 名 (First name), 会社名 (Company name), メールアドレス (Email address), TEL, 業種 (Industry), and 部署 (Department).

Id	姓	名	会社名	メールアドレス	TEL	業種	部署
4	山田	一郎	日本オラクル	sss@oracle.com	09088887777	農林・水産業	人事
5	佐藤	弘樹	佐藤商店	sato@shoten.co.jp		漁業	
3	朝比奈	絵里	日本ABC	aaa@abc.com	0333334444	その他	営業部
6	鈴木	光吉	XYZ company	suzuki@xyz.com		卸売・小売・飲食業	営業部
7	北嶋	綾	梅林工業	kitajima@bairin.com	0377778888	林業	広報部
8	加藤	太郎	BBB会社	ppp@oracle.com	0900000000	建設業	

The bottom of the page shows a footer with social media links (Facebook, LinkedIn, Twitter, Google+, YouTube) and the text "Copyright © 2017 Oracle".

# Oracle Content and Experience新機能



# サイト・ガバナンス

ORACLE Content and Experience Cloud

テンプレート詳細 snaka\_cafe\_demo

ステータス

● アクティブ - このテンプレートはアクティブで、「ポリシー」タブのポリシーに応じてサイトの作成時に使用できます。サイトの作成時に使用されないようにするには、非アクティブ化してください。

詳細 ポリシー

このテンプレートで作成されたサイトは次のタイプになります

エンタープライズ  
アセット・リポジトリおよびローカライズ・ポリシーを使用する必要があります。

承認

管理者

最小セキュリティ

全員

簡易URLの接頭辞

ユーザーが選択

ローカライゼーション・ポリシー

ユーザーが選択

サイトの作成

テンプレートの選択 サイトの構成 詳細の追加

サイトには次の構成があります

タイプ

エンタープライズ  
アセット・リポジトリおよびローカライズ・ポリシーを使用する必要があります。

承認

管理者  
サイト管理者の承認が必要です。

セキュリティ

クラウド・ユーザー  
ドメインにサインインできるすべてのクラウド・ユーザー

アセット・リポジトリ \* 必須フィールド

Demo Repository

ローカライゼーション・ポリシー \*

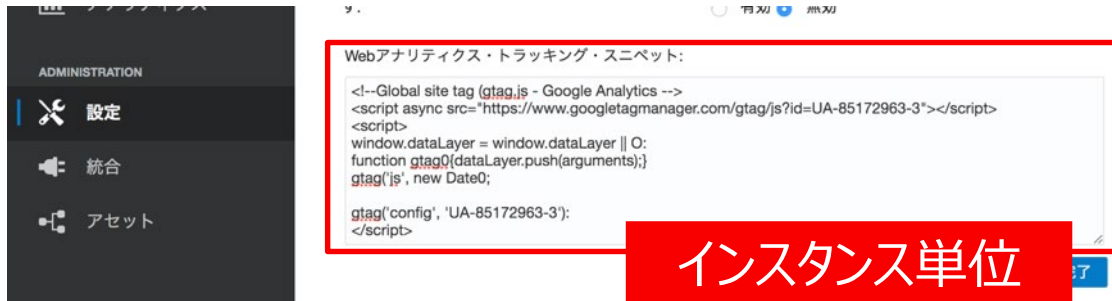
デモローカライゼーションポリシー

デフォルト言語 \*

日本語 (ja)

- 新規サイト作成時に、**サイト管理者による承認プロセス**を挟むことができます
  - これまでは、権限があれば誰でも自由にサイト作成が可能
- サイト管理者は、テンプレート毎に下記のポリシーを設定
  - ドラフト or 使用可能
  - 承認の要否（管理者 or 自動）
  - サイト作成時の最小限のセキュリティを設定
  - エンタープライズサイトのみ「アセット・リポジトリ」「ローカライゼーションポリシー」「デフォルト言語」を設定
- メリット・効果
  - サイト作成・承認プロセスの簡素化
  - 集中監視による企業ブランディングおよびガバナンスの徹底

# Web アクセス解析ツール連携



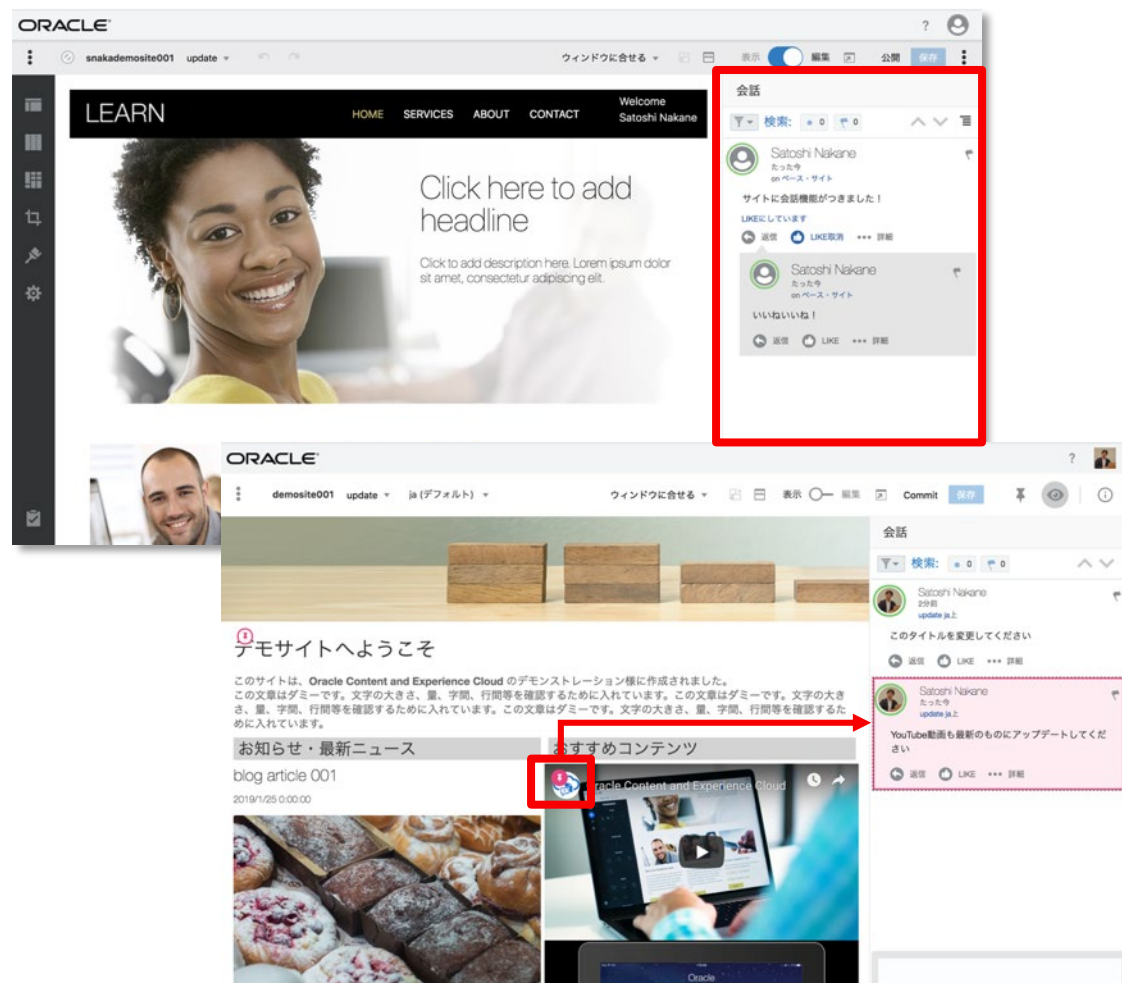
## 概要

- Web アクセス解析ツールが提供するJavaScript トラッキングコードのスニペットを追加できるようになりました
  - インスタンス単位、サイト単位、ページ単位
- タグ埋め込み型(ビーコン型)のWebアクセス解析ツールであれば対応可
  - Google Analytics、Adobe Analytics、Oracle Infinity ほか

## メリット・効果

- Webアクセス解析ツール利用時の統合作業の効率化・省力化

# サイト及びサイト・コンテンツへのアノテーション



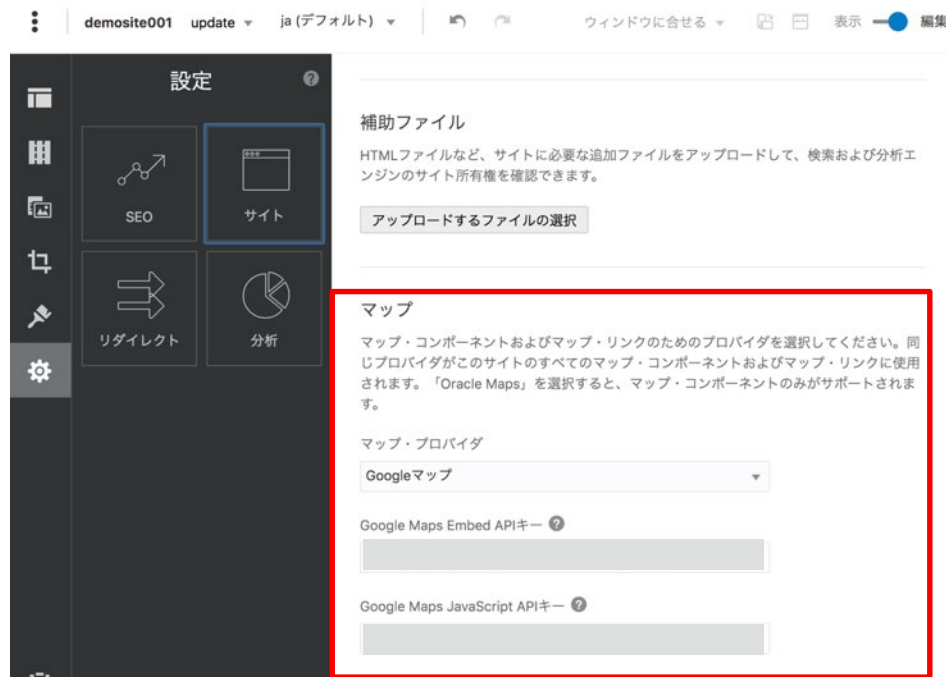
## 概要

- サイトの編集画面で会話がつかえるようになりました
- サイト編集画面で、コンポーネントを指定して注釈をつけられるようになりました

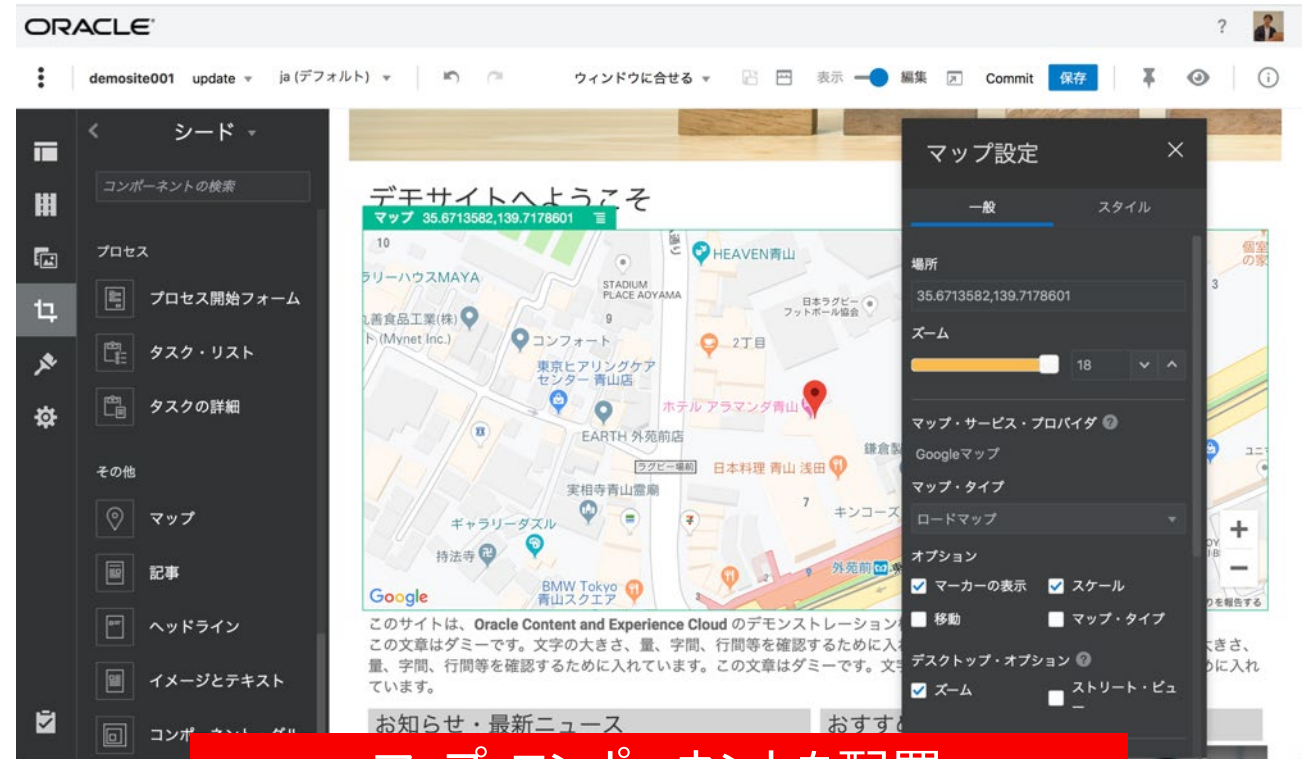
## メリット・効果

- サイト及びコンテンツ編集作業時のレビューの効率化
- 制作物に対するコメントの一元管理

# Google Map コンポーネント

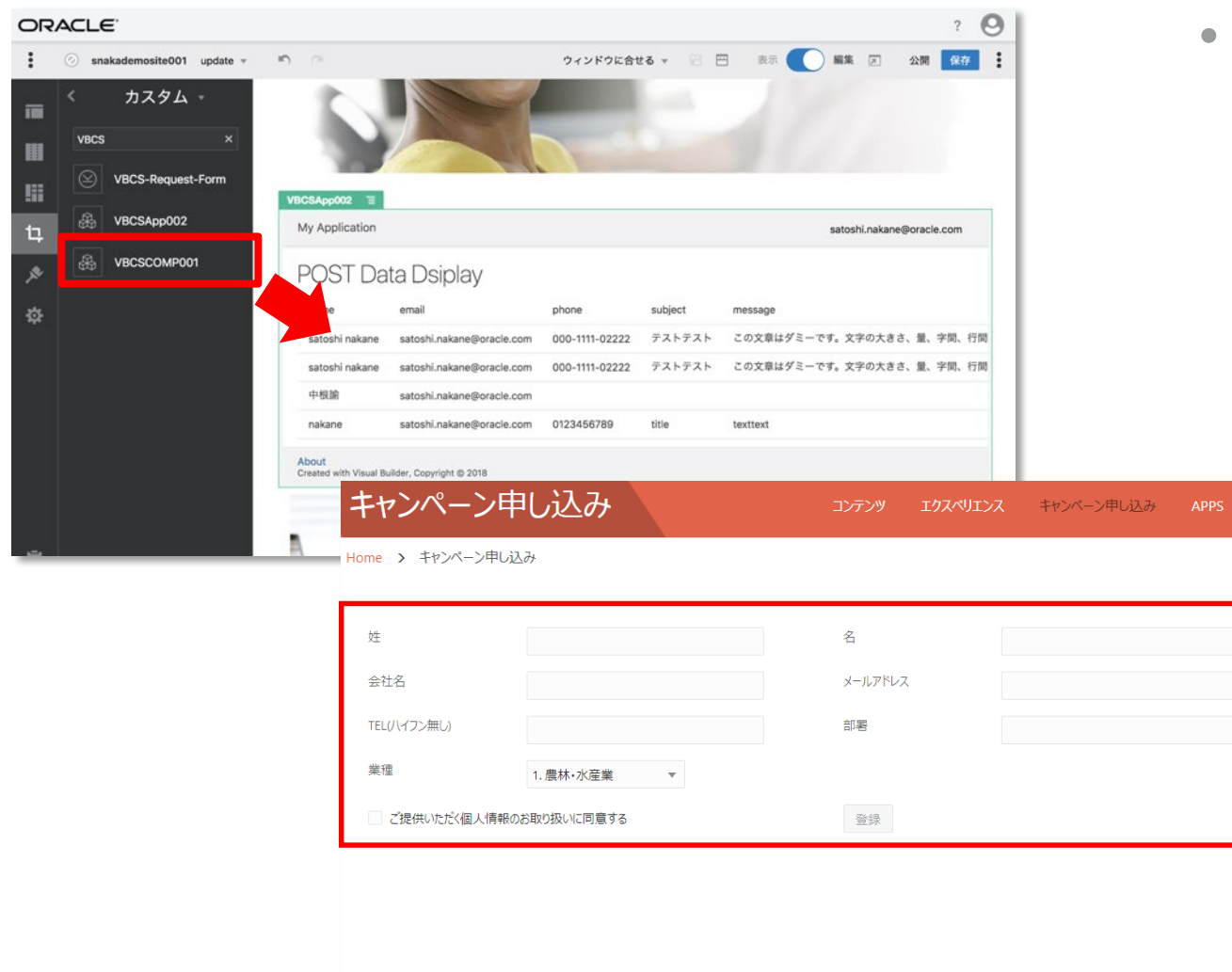


マップ・プロバイダでGoogle Mapを選択



マップ・コンポーネントを配置

# Visual Builder コンポーネント



- Visual Builder で開発したアプリケーションを、Visual Builder コンポーネントとしてサイト上に配置可能になりました
  - 公開(LIVE)された VBCS アプリケーションの URL を指定
  - 利用条件
    - CEC および VBCS が、同じアイデンティティドメインに所属すること (SSO 必須)
    - 連携設定は CECEnterpriseUser ロールが必須
    - VBCS → Tenant Settings で CEC のサービス URL を Allow Origin として登録 (CORS 有効化)
    - VBCS アプリケーションは埋め込み可能 (Allow Embedding in any application domain) であること



# 多言語サイト



- 複数言語に対応したサイトを作成・管理できるようになりました
  - `https://<host>/site/demosite004/home.html (ja)`
  - `https://<host>/site/demosite004/en/home.html (en)`
- エンタープライズ・サイトのみ
  - 対応言語は、サイト作成時に指定したローカリゼーションポリシーによる
  - コンテンツ・リストも、サイトの言語が自動反映
- サイトの翻訳は、翻訳ジョブを利用
  - UI 上からの翻訳はできません

# 多言語サイト

## 翻訳ジョブの作成

名前

demosite004ja2en

ジョブ名に次の文字は使用できません: \"/&gt;

ソース言語

日本語 (ja)

ターゲット言語

翻訳は次のターゲット言語で作成されます [すべて選択](#)

英語 (en) ✕

Translation Job Contents

Only site content

翻訳ジョブを作成してさ  
エクスポート

日本語(マスタ)

## "demosite004ja2en"のインポート

サイト: demosite004

言語	インポート・ステータス
英語 (en)	✓ インポートされます (site)

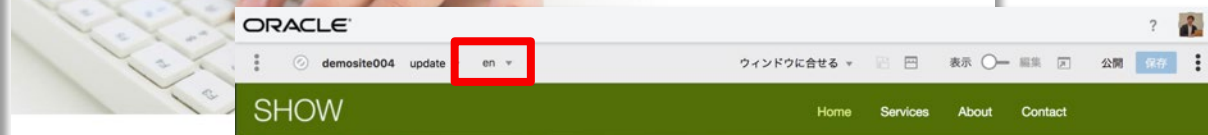
翻訳ジョブ内のすべてのページを表示します

ページ	インポート・ステータス
siteinfo.json	✓ インポートされます
translation	✓ インポートされます
76.json	✓ インポートされます
.json	✓ インポートされます

取消

インポート

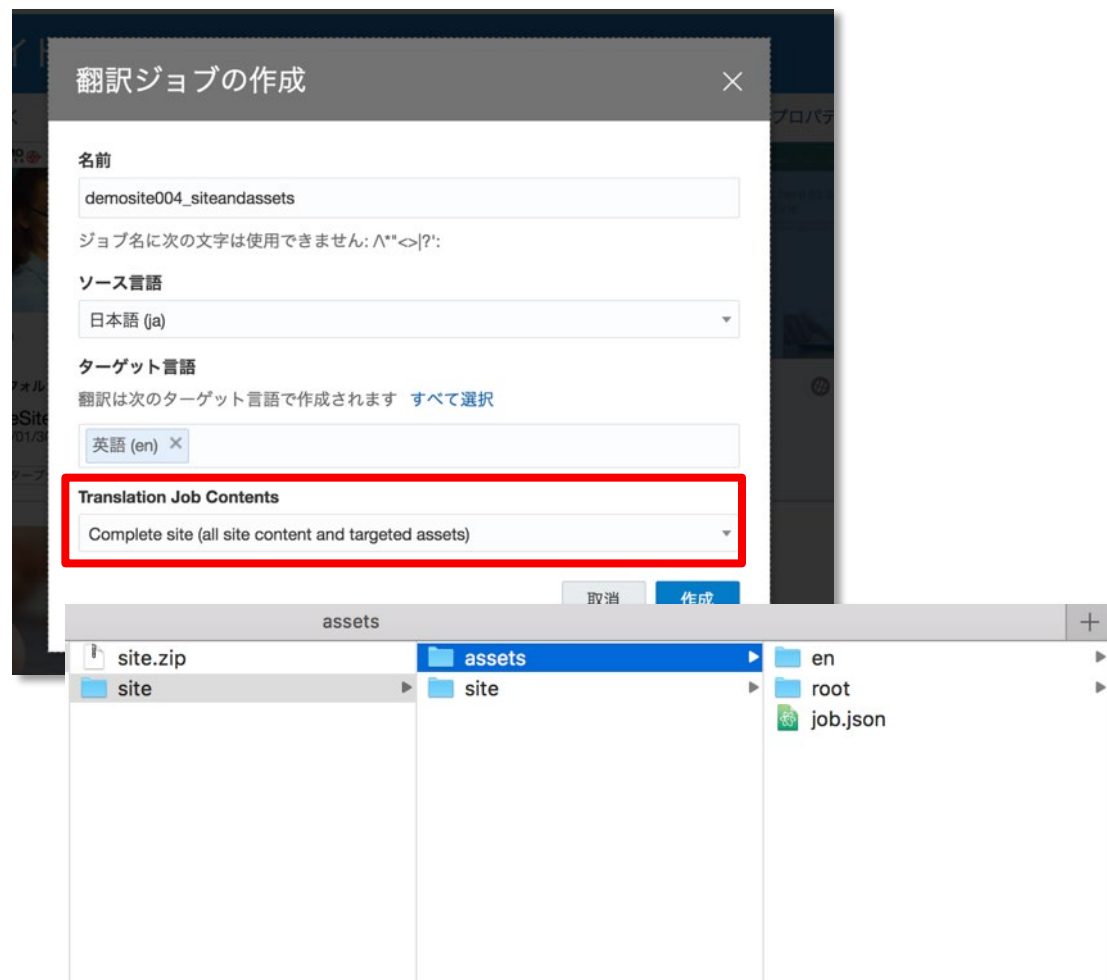
翻訳済情報の  
インポート



英語(翻訳済)



# アセットを含むサイト翻訳



- 翻訳ジョブ実行時に、サイトコンテンツだけでなく、サイト上で利用するアセットもエクスポートできるようになりました
  - サイト全体（アセット＋サイト・コンテンツ）
  - サイト・コンテンツのみ
  - サイトの公開チャネルのターゲットになっているアセット
- assets > root フォルダに翻訳対象アセットのjsonファイルが保存
  - 翻訳手順はサイトコンテンツと同じ

「サイトコンテンツ」に含まれる項目

- ページ (page)
- ページ構造 (page structure)
- サイト情報 (Site info)

# サイトの公開検証

**検証結果**

チャンネル  
☐ ターゲット対象 ☒ 選択済  
 demosite004 X 検証

チャンネル ☒ demosite004 表示 ☐ すべて Reveal All すべて非表示

アイテム	タイプ	ステータス
Results 0 Total Issues / 0 Channel Issues		
blog article 001	Translation Set	準備完了
blog article 001 (ja)	article	準備完了 / 必須
Blog_2_Ad_Image_600x266px.jpg	デジタル・アセット	
blog article 001 (en)	article	準備完了 / オプション
Blog_2_Ad_Image_600x266px.jpg	デジタル・アセット	
news article 001	Translation Set	準備完了
news article 001 (ja)	article	準備完了 / 必須
Blog_1_Ad_Image_600x266px.jpg	デジタル・アセット	
news article 001 (en)		
Blog_1_Ad_Image_600x266px.jpg		
news article 002		
news article 002 (en)		
Blog_3_Ad_Image_600x266px.jpg		
news article 002 (ja)		

**検証結果**

チャンネル  
☒ ターゲット対象 ☐ 選択済  
 demosite004 (1)

チャンネル ☒ demosite004 表示 ☐ すべて Reveal All

アイテム	タイプ	ステータス
Results 1 Total Issue /		
004 sample blog	Translation Set	準備ができていません ・"ja"に対する必須の翻訳がありません
004 sample blog (en)	article	準備完了 / オプション
Blog_3_Ad_Image_600x266px.jpg	デジタル・アセット	
Dependencies		
Blog_3_Ad_Image_600x266px.jpg	デジタル・アセット	準備完了

## 概要

- サイトの変更を公開すると、そのサイトの公開チャンネルをターゲットとしているすべてのアセットが検証・公開されるようになりました
- 検証に失敗した理由に関する情報も表示

## メリット・効果

- 「サイト変更の公開」と「アセットの公開」の二度手間の解消。サイト公開作業の効率化

# トライアルサービスのご案内

Oracle Content and Experience Cloud



# Oracle Content and Experience Cloud トライアルサービス

## \$300のフリークレジットで CEC を含むすべての PaaS/IaaS をお試しください

[https://cloud.oracle.com/ja\\_JP/tryit](https://cloud.oracle.com/ja_JP/tryit)

Oracle Cloudを無料で使用開始

### 最大3,500時間の無料 トライアル

データベース、コンピュート、コンテナ、IoT、ビッグ・データ、API、その他の各種クラウド・サービスを使用して、すぐに本稼働を開始しましょう

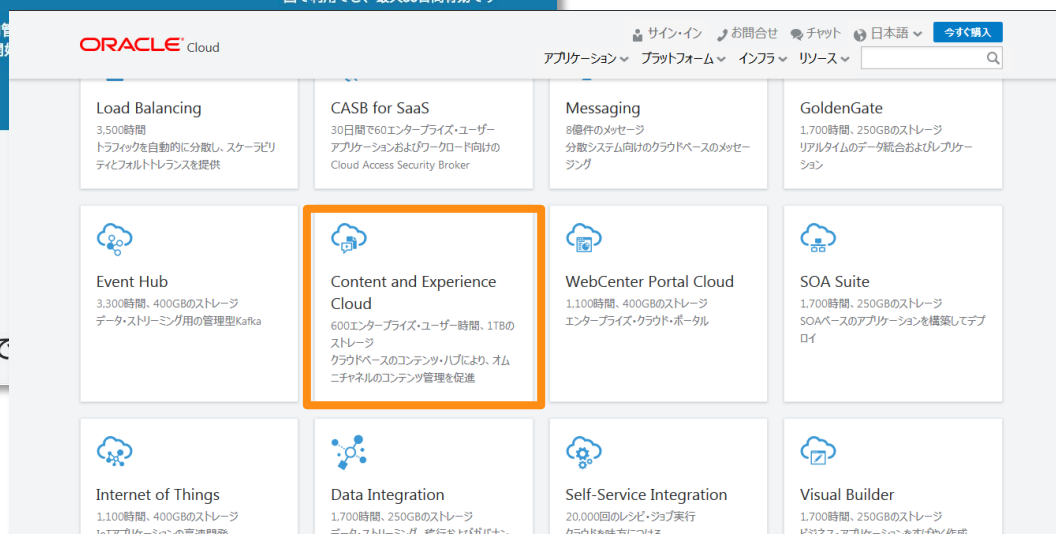
無料アカウントを作成 >

US\$300の無料クレジットは限定された国で利用でき、最大30日間有効です

「無料アカウントを作成」  
をクリック

### 条件

- 600 Enterprise User hours
- 1 TB of storage
- 使用期間: 登録後30日間



詳しい申込手順はこちら → [https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a\\_id/2855](https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a_id/2855)

こんな時、かけこむ会社が増えています。



ビジネスプロセスを  
改善したい!



今のシステムは  
使いにくい!



システムコストを  
下げたい!



パフォーマンスを  
良くしたい!



経営分析を  
したいのだが...



どんなソリューションが  
あるの?



見積りはどれくらい  
なんだろう?



楽に管理を  
したい!

**Oracle Digitalは、オラクル製品の導入をご検討いただく際の総合窓口。  
電話とインターネットによるダイレクトなコミュニケーションで、どんなお問い合わせにもすばやく対応します。  
もちろん、無償。どんなことでも、ご相談ください。**



**お問い合わせは電話またはWebフォーム**

**☎ 0120-155-096**

受付時間 月～金 9:00-12:00 / 13:00-17:00  
(祝日および年末年始休業日を除きます)

**<http://www.oracle.com/jp/contact-us>**

ORACLE®